



昭和小 第14号

校長室便り
文責
生田 文明

光っ子発表会

四日（日）光っ子発表会を開催しました。今年、隔年に行われる昭和校区文化祭と共催で実施しました。

本校からは、一く四年生が朗読劇「半日村」、五・六年生が劇「昭和ふしぎ発見」と題して、農聖 松田喜一氏の学習を通して学んだことを発表しました。また、全校で斉唱「赤いやねの家」、合奏「生命のいぶき」も保護者、地域の皆様に聴いていただきました。

本校は今年で、独立九十周年を迎えました。そこで、昭和小学校創立当時から今に至までの学校での生活や学習、思い出を当時の写真や学校に残る記念碑をもとに、四名の卒業生の皆さんに語っていただきました。

全校児童四十四名と小規模の学校ですが、だからこそ、児童一人一人が、まさに主役となり、光っ子（光りをかかげる人）として、輝く発表会となりました。また、今回の「半日村」「昭和ふしぎ発見」の内容や当日の発表やそれまでの練習を通して、「積小成大」（小さな積み重ねが大きな成果をもたらすこと）や「協力」の大切さを学び、経験したと思います。さらに、「九十年のあゆみ」を報告する中で、「積小成大」「協力」は、幾多の困難を乗り越え、現在の昭和校区を築かれた校区の皆さんの開拓魂として大切にしてこられたものでもあったと感じました。



今回の校区文化祭との合同開催とおして、あらためて、ふるさと昭和の素晴らしさを感じ、次代を担う子どもたちにもこの昭和のよさを継承していかねければならないと強く感じました。

読書の秋

読書をするには、絶好の季節となりました。本校では、読書活動に力を入れています。今年度も十一月を読書月間として、①環境図書委員のおすすめの本の紹介、②朝読書の徹底、③読書クイズや読書ビンゴの実施、④ふれあい読書カードによる二十分親子読書の実施などの取組を行います。

なお、今週「十二日（月）十八日（日）」は「秋のふれあい読書」（テレビを消して、子どもと一緒に本を読みましよう）週間です。各家庭で読書をとおし



て家族ふれあいの時間にしてほしいと思います。詳細につきましては、十月二十九日に配付いたしました「秋のふれあい読書のすすめとお願い」「ふれあい読書カード」をご参照ください。各家庭での取組をよろしく願います。

何かご質問等ありましたら、学校まで遠慮なくご連絡ください。

なお、十月の学校図書館での貸し出し冊数は、648冊でした。

三年連続、年間読書冊数一万冊をめざし、多くの本に親しみましょう。

朝の全校活動

六日（火）から、十二月二日（日）の校内持久走大会に向け、朝の全校活動の内容を変更しました。

月・火・木・金曜日は、九分間走を行い、その時間内で、トラックをできるだけ多く周回できるように、日々の周回数記録していきま。水曜日は、クリーンタイムとして、落ち葉はきや花壇の草取り、水やりなどをおこなうことにしました。

今年度の持久走大会は、校地内の外周（校舎周り）とトラックを走り、自己ベスト記録、宣言タイム金賞（十一・十五秒以内）をめざし、走ります。距離は、一・二年生が1020m、三・四年生が1330m、五・六年生が1640mです。当日の応援をよろしく願います。

